

○卒業までに学生が身につけるべき資質・能力

卒業生の特性（期待する卒業生像）

教育目標	卒業生の特性（期待する卒業生像）
1. 看護の対象である人間を身体的、精神的、社会的に統合された存在として理解する能力を養う。	1) 人間を、身体的・精神的・社会的存在として捉えることができる。 2) 人間を、成長発達段階、あらゆる健康レベルから捉えることができる。 3) 看護の対象を生活者として総合的に理解することができる。
2. 人間の多様な価値観を認識し、専門職業人としての共感的態度及び倫理に基づいた看護を実践するための基礎的能力を養う。	1) 人間の多様な価値観を認識できる。 2) 看護の対象を一個人として尊重し、受容的・共感的態度で接することができる。 3) 倫理的判断に必要な基本的な知識を身につけることができる。 4) 倫理に基づき人間の生命・尊厳を尊重し人権を擁護することができる。 5) 守秘義務を厳守し、プライバシーに配慮することができる。
3. あらゆる健康レベルに応じて科学的根拠に基づいた看護を実践するための基礎的能力を養う。	1) 対象の健康を主要概念に基づく観点から理解できる。 2) 基礎的看護技術を身につけることができる。 3) 看護技術の根拠を明確にし、科学的な考え方を養うことができる。 4) 科学的思考に基づいた看護を実践することができる。 ・対象のニーズを身体的・精神的・社会的側面から把握することができる。 ・看護問題の明確化をはかり、問題解決に向けての援助方法を考えることができる。 ・実践した看護を評価することができる。 5) 看護実践に必要な判断能力、応用能力、問題解決能力を身につけることができる。
4. 保健・医療・福祉制度と他職種役割を理解し、チーム医療を実践すると共に、人々が社会資源を活用できるよう、それらを調整するための基礎的能力を養う。	1) 保健・医療・福祉制度や他職種の役割を理解することができる。 2) 保健医療福祉チームの中での看護の役割を理解することができる。 3) 他職種と協働して、看護の役割を果たすことができる。 4) 対象の健康レベル向上のために社会資源を活用できるよう、それらを調整する能力を身につけることができる。
5. 自己の看護観をもち、専門職業人として、学習・研鑽し続ける能力を養う。	1) 自己の看護観を育む姿勢を持ち続けることができる。 2) 専門職業人として人間的成長のための努力をすることができる。 3) 専門職業人として自覚と責任を持ち自己研鑽していく能力を養うことができる。
6. 豊かな人間性と感性を高め、人間関係を築く力を養う。	1) 豊かな感性を養い、創造性を高めることができる。 2) 人間を尊重し、他者との人間関係を深めることができる。 3) 人間愛・生命尊重を基盤に思いやりの心を持って人々に接することができる。